

漫才台本3

A「映画の話でもしましょうか。」

B「そうですね。私こう見えても、映画といえばSFのファンなんです。」

A「どう見えても関係ないけど、SFはおもしろいね。」

B「そう、最近では、クリストファー・ノーラン監督のダーク・大和三部作。」

A「ダーク・ナイトですね。それにしてもニッチなとこついてくるねえ。マジシャンさんの名前ですけど。」

B「少し前は、スター・ウォーズなんて人気があったようで、今でもファンが多いらしいんです。私、リアルタイムで見えていませんから、タツヤでレンタルして、見たんです。」

A「タツヤですね。それも他人のネタでしょう。ともかく、スター・ウォーズ、私よく知りませんから、教えてくださいな。」

B「いいでしょう。スター・ウォーズは、アナキン・スカイウォーカーのサーガで、アナキンがダーク・大和に落ちて、」

A「ダーク・サイドですね。」

B「なんだ、知ってるじゃん。そうそれで、そのダーク・大和に。」

A「サイドですね。」

B「それを息子のルークが救い、宇宙を暗黒卿の支配から解放するんですね。あと、アナキンは、ダーク・サイドに落ちた時、暗黒卿から、名前を与えられる。」

A「どんな、名前？」

B「ダース……」

A「ダース何？」

B「ダース・ゲタ。」

A「ゲタ？ 奇妙な名前だねえ。」

B「ほかに、暗黒卿には弟子がいて、ダース・パク、ダース・マンガ、ダース・ノッポ。」

A「ゲタさん、パクさん、マンガさん、ノッポさんって、それ、ダーク・サイドじゃなくて、ダーク・ダックスじゃないですか。やってられませんよ。」

A・B「どうも、失礼しました〜。」